



世田谷中だより

世田谷社の学び舎

世田谷区立世田谷中学校

校長 前田 浩

〒154-0022 東京都世田谷区梅丘3-8-1 TEL 03-3420-7173(代)

e-mail dai134@setagaya.ed.jp <http://school.setagaya.ed.jp/tseya/>

学習の評価について知ってほしいこと

校長 前田 浩

1・2学期の終業式の日、本校では学習相談の時間を設けています。始めた頃は、「どうして3だったのですか？」という生徒の質問と、その理由を教員が説明して終わってしまう問答が聞こえてきました。しかし、学習相談の機会が定着すると、「どうすれば4になりますか？」と、すぐに質問の質が変わっていきました。この「どうすれば」が、学習相談の肝です。「来学期は〇〇の学習があるから、知識や技能を上げるためには、・・・していくことが大事です。思考・判断・表現を上げていくには、・・・というやり方の方が、効果があるかもしれません。それから、提出物は期限までに必ず出すこと。来学期はこれで成績アップをめざしましょう！」こんな先生のアドバイスが、あちらこちらで当たり前聞こえるようになっていきます。

成績（学習の評価）は、何のためにあるのかと考えると、何より、生徒自身が自らの学習の取り組みを振り返って、方法を改善したり、新たなやり方を試したりするためのものとも言えます。ですから、こうした会話が頻繁に聞こえるようになったことは、とても意味のあることなのです。成績（学習の評価）は、生徒からすれば、学力の程度を知って終わるのではなく、次への方向性を明らかにすることが、教員にとっては、生徒に説明して終わるのではなく、明日からの授業の工夫に活かすことが必要なのです。

また、成績（学習の評価）は、生徒一人ひとりの進路選択や進路決定にも大きく影響します。なので、年度初めの保護者会では必ず説明と資料配布をしますが、学習評価の仕組みはわかりづらいところもあるため、進路説明会後の質問や、学校関係者評価アンケートの自由記述欄では、しばしばこんな内容が目にとまります。「評価の基準は、どうやって決まるのですか？先生によって有利不利はないのでしょうか？」「塾の先生から〇〇中は、よい成績をとりにくいと聞いたことがあります。本当でしょうか？」こうした質問は、前任校でも、前々任校でもありました。疑問は当然だと思います。成績（学習の評価）は公正で妥当性が担保されなければならないものである以上、教科や先生によって基準を自由に変えられるものではありません。世田谷中学校の学習評価としての基準に則っての評価です。では、学校によってこれが異なるかということ、公的なモデル（「学習評価の在り方ハンドブック（文部科学省）」は、その代表的資料です。）があり、学校はそれに基づいた評価を行うのですから、学校単位で意図的に甘くする、厳しくするということがないはずのことです。

受験学年である3年生の学習評価には、ことさら神経を使います。評価の在り方が守られているかをチェックする機能は絶対に必要であり、校内でチェックをした上で、1学期末、そして12月末日現在の成績分布を、区立中学校の校長が全員集まって調査をしています。理論上はあり得ても、生徒の実態からかけ離れた評価分布は、適切ではない学習評価の可能性が高いと指摘を受け、改善を求められます。夏休みの初日に行われた調査会に提出した、現3年生の評価の分布は、すべての教科が山型の正規分布でした。

学習評価がどうあるべきかは、すべての教員が身に付けなくてはいけないスキルです。そこで本校は、3年生の成績分布状況を毎年、全教員で共有し、研修の1つとしています。1・2年生も含め、厳しすぎたり甘すぎたりする学習評価、偏った学習評価にしないためにです。

これからも、妥当性と客観性を重視した学習評価に努め、世田谷中の学びへの信頼を高いレベルで維持したいと考えます。

表彰（敬称略）

バレーボール部 世田谷区北地区秋季新人大会第3位、第2ブロック新人大会第4位

第76回生と競書会 区長賞：畠中、教育委員会賞：竹花

特選：青木、柴田、大門、北村、

金賞：柴崎、小林、八代、岡嶋

第24回全国中学校総合文化祭 優秀作品の出品による表彰 竹花

演劇部 世田谷区演劇発表会 生徒賞

1 学年

9月25日の3・4校時にて、朝日新聞社の白銀泰さんを講師にお招きして「新聞から学ぶSDGs」の講演会を行いました。生徒たちは、夏休みの宿題で身のまわりのSDGsを調べました。その成果もあってか、白銀さんとの対話の中で、いろいろな記事から自分たちから17の目標がそれぞれの解釈であがっていました。講演の最後に、その日の朝刊の記事にSDGsに関係するものを専用の付箋で貼る活動をしました。同じ目標を選んでも、選んだ理由や視点が異なることも多く、SDGsの理解をさらに深めることができました。10月には、各自で調べ、新聞形式でまとめた「職業調べ」をクラスで発表しました。自分が興味のある職業を図書室の資料やipadを利用して調べ、紙面やロイロノートにまとめ発表しました。11月1日には、各クラスの代表者が新聞内容をわかりやすく説明するためにパワーポイントを用いて、クイズ形式にするなど工夫を凝らして発表していました。令和8年度の修学旅行についてお知らせ致します。先日、修学旅行に向けて旅行者からプレゼンテーションがあり、保護者の協力もいただきました。旅行者は近畿日本ツーリストとなり、秋季の関西方面への旅行となりました。詳しい内容は、3学期の保護者会でお知らせいたします。



2 学年

6月頃から様々な準備をしてきた職場体験学習の本番が9月24日から3日間行われました。緊張した様子で臨んでいたようですが、多くの事業所からお褒めのことばをいただきました。学校では学ぶことができないことを学び、体験後の振り返りでは、「働くということ」「自分自身のこと」「将来のこと」など、多くのことを考えることができたようです。また、学芸発表会では、どのクラスも1年生の頃よりレベルアップした、今までで一番の合唱を披露しました。3年生の合唱に圧倒された生徒も多く、「来年は3年生のような合唱をしたい!」「来年こそは最優秀賞をとりたい!」とキャリアパスポートに書いている生徒もいました。多くの行事を通して成長を感じることができました。



今後は日本語の授業で世田谷パブリックシアターの方による演劇を使った表現の出前授業や、世田谷中のCM作成に取り組んでいきます。なお、2月7日(金)に予定されていた校外学習ですが、海外派遣事業の受け入れ期間と重なってしまったため、実施日を2月14日(金)に変更します。実施内容などについては改めてお知らせいたします。

3 学年

学芸発表会本番直前、世田谷区民会館の地下練習室にて最後の練習を行いました。その時、「今までこの学年で行事などを一緒にやってきてくれたみんな、そして先生たちと一緒にずっと一生懸命やってきたから、このあとの本番、しっかりできると思っているの、最後の行事をみんなで楽しみましょう。」と代表生徒が声をかけ、ステージへとあがっていきました。最高学年らしい姿を後輩に見せることができ、学年目標である「荘厳華麗」の「華麗(行事などを通して華々しい姿を見せていく)」の達成へ1歩近づくことができました。朝練習や昼休みも多くの生徒が練習に励んでおり、3年間の成長を感じました。

これから先は「荘厳(最上級生という威厳をもって)」ということがさらに求められてきます。進路決定に向けて、学校内だけでなく学校外でも威厳をもった姿をみせていくことができるようにサポートしていきたいと思います。12月3日(火)より三者面談となります。進路希望を固め、いよいよ具体的に進路の取り組みを進めていきます。引き続きご協力よろしくお願いたします。



双葉学級【河口湖連合移動教室】

10月2日から4日まで、河口湖連合移動教室へ行ってきました。1日目は河口湖フィールドセンターでキーホルダーを作りました。1日目の夜は学級交流会。双葉学級はソーラン節を発表しました。今年は、踊る隊形を工夫したり、決めポーズにこだわるなど、より格好良くなった発表になりました。その他にも忍野八海や富士サファリパークを見学し、思い出に残る移動教室になりました。



【学芸発表会 合唱～The Best Climax Award 賞～】

双葉学級は「道」と「With You Smile」を学芸発表会で歌いました。区民会館ホールでの発表に緊張高まる中、大きな声で気持ちを込めて歌って最高のステージとなり、サビが盛り上がった合唱におくられる『The Best Climax Award』を受賞しました！



i組【学芸発表会】

i組は「CUPS」の演奏をしました。初回の授業では「むずっ!」「できる気がしない!」と声があがり、先行き不安に・・・でも、授業が終わってからは生徒たちがCUPSのリズムを手でたたくようになり、「カップを借りてもいいですか」と休み時間など空いた時間で少しずつ練習し始め、「朝も練習してもいいですか」と声上がり、いつのまにか毎日CUPSの練習をしている音が響き渡っていました。楽譜や練習動画を何度も確認し、時には教えあいながらコツコツ練習を積み重ねていました。大人が練習しようと促す前に、「本番までに完成させられるには」を自分たちで考え、行動に移していたのは素晴らしい姿でした。さらに、個々で取り組んでいた練習から、みんなで合わせようとなったとき、テンポがだんだん速くなる、リズムがずれる、音源とあっていないなど課題がどんどん出てきました。その課題にも何とか克服しようとみんなでアドバイスをし合い、合わないところだけ取り出して練習するなど、最後まで諦めずに粘り強く取り組むことができました。練習の成果もあり、本番では物怖じすることもなく堂々と演奏することができました。途中でハプニングもありましたが落ち着いて乗り越えることができ、『Galaxy Performance 賞』を受賞することができました。装飾担当が作成した作品も舞台上を華やかに彩ることができました。学芸発表会の様々な活動の中で生徒たちの成長を感じることができました。保護者の皆様、練習から本番まで生徒たちの活動を応援してください、ありがとうございました。

ねいろ【ねいろの花子さん～みんなの距離が近い場所～】

世田谷中学校の開校記念日に実施された学芸発表会。ねいろ分教室は今年も演劇を披露しました。ねいろ分教室が開室されてから3年。現在在籍する3年生はねいろの入学式を経て入学した最初の学年です。ねいろで中学校生活をスタートさせた全学年の生徒達が集まった今だからこそ作り上げられる演劇にしよう、ということで今年のテーマは「ねいろの日常の紹介」に決まりました。夏休み前から演劇についての話し合いを始め、「理想の学校って?」「普通って?」「不登校」「体験生」などについて様々な意見交換をしました。その話し合いで出た一人一人の言葉から作り上げた台本だからこそ、セリフの一つ一つにたくさんの思いが込められていました。ストーリーは、ねいろにやってきた体験性が“ポジティブなねいろのトイレの花子さん”に背中を押されながら、ねいろの生徒達と関わり、新たな一步を踏み出していく…というもので、役者と裏方に分かれ、それぞれの役割に力を注ぎ、本番は大成功に終わることができました。休み時間を使ってセリフやダンス、ピアノ、アトラクションの練習に取り組んだ役者達。細部までこだわって道具や音響を作り上げた裏方達。このメンバーだからこそできた今年の演劇。見てくださった方々にねいろについて知ってもらい、私達のメッセージが何か1つでも心に響いていたら嬉しいです。

行事予定

日 曜		12月予定	日 曜		1月予定
1	日		1	水	元日
2	月	朝礼 安全指導	2	木	
3	火	三者面談始 コミュニケーションタイム 4時間授業	3	金	
4	水	キャリアパスデー 4時間授業	4	土	
5	木	4時間授業 I組見学会	5	日	
6	金	4時間授業	6	月	
7	土		7	火	諸会議 冬季休業日終
8	日		8	水	始業式 安全指導 職員会議
9	月	避難訓練 4時間授業 三者面談(3)終	9	木	学校公開期間始 キャリパスデー 健康教育(1) 給食始
10	火	三者面談(1・2)終 コミュニケーションタイム 4時間授業	10	金	
11	水	専門委員会	11	土	土曜授業 学校公開期間終
12	木		12	日	
13	金		13	月	成人の日
14	土	土曜授業	14	火	あいさつ運動始 コミュニケーションタイム
15	日	いずみ学級	15	水	専門委員会
16	月	生徒会朝礼 入試相談開始	16	木	
17	火	高校の先生による出前授業(2) コミュニケーションタイム	17	金	あいさつ運動終 高校の先生による出前授業(2) 校内研修会 定時退勤奨励日
18	水	校内研修会 特別委員会	18	土	英検
19	木	分掌部会	19	日	いずみ学級
20	金	2年クリーンデー 定時退勤奨励日	20	月	生徒会朝礼
21	土		21	火	コミュニケーションタイム
22	日		22	水	
23	月		23	木	
24	火	大掃除 給食終	24	金	
25	水	終業式	25	土	
26	木	冬季休業日始	26	日	都立推薦入試
27	金		27	月	4時間授業(⑤⑥カット) 都立推薦入試 定時退勤奨励日
28	土		28	火	
29	日		29	水	ねいろプラネタリウム教室
30	月		30	木	
31	火		31	金	校外学習(1) 双葉連合展覧会始